

たんぽぽ

2024年度 第

5

号

No.340



<https://jsl-tampopo.amebaownd.com/>

土の会クリスマス交流会

12月14日(土)

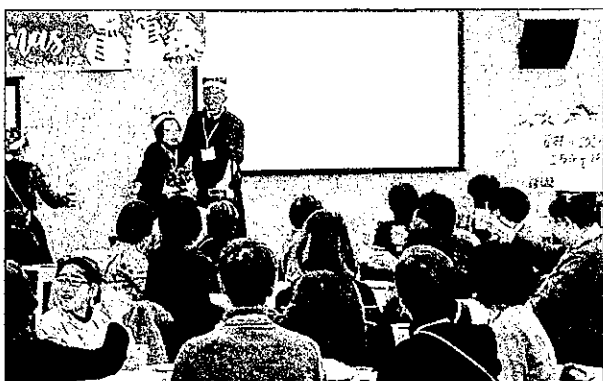
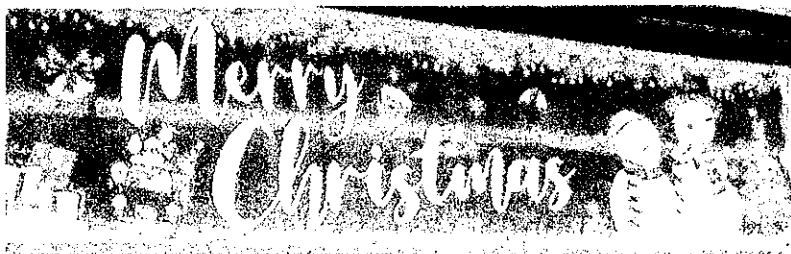
第37回土の会クリスマス交流が開催されました。

今回は新築の世田谷区民
会館の集会室、久しぶりの
酒類が入ったの飲食パーティーでした。

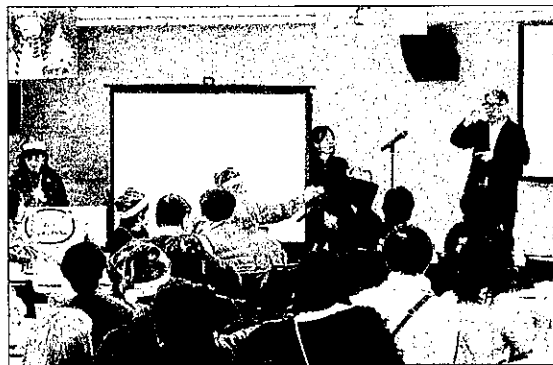
前回までコロナのため自粛モードからの解放で、皆さん片手に缶ビール持ちながら歓談、手話ベリに回っていました。

ゲームでは「3人羽織」(2人3脚?)、「私は誰でしょう」連想ゲームで楽しく遊びました。

出席者の中には手話講習生もいてそのゲームに参加していました。手話勉強中で片言手話ですが、ろう者と一緒に楽しむという交流の機会を持てたと思います。



これまでの企画、準備して下さった実行委員の皆さん、お疲れ様でした。



土の会：世田谷区聴覚障害者協会・手話通訳者連絡会・手話サークル輪の会・手話サークルたんぽぽの4団体で構成されています

★土の会の1つ、

世田谷区聴覚障害者協会の創立70周年記念大会が
2月9日に世田谷区民会館で行われます。

誠におめでとうございます。



The Deaf Association of Setagaya, Tokyo
70th Anniversary

●各委員会の活動報告と予定 ※詳しくは各委員にお問合せください

たましろの郷世田谷委員会	活動無し	
防災委員会	12月22日(日)防災講座	
参政権	活動無し	
都サ連	12月15日(日)担当者会議 2月16日(日)担当者会議	1月26日(日)1日研修
土の会本会議	3月29日(土)	

●行事实行委員の報告と予定 ※詳しくは各委員にお問合せください

雑居祭り	12月 7日(土)50周年委員会	来年度は10月12日(日) 羽根木公園
土の会 X マス交流会	12月14日(土)交流会 2月20日(木)反省会	

●その他の報告

せたがやの手話製作委員会	11月21日(木)委員会	2025年2月納品予定
たんぽぽ50周年実行委員会	1月 9日(木)委員会 1月24日(金)委員会	2025年5月5日(月祝) 世田谷区民会館

★手話サークルたんぽぽ創立50周年記念大会も近づいてきました !!

本年5月5日(月・祝日)です。

場所は世田谷区民会館集会所

現在準備中です。



編集後記

この正月は風邪、インフルエンザやしぶといコロナも流行っていました。
世聴協50周年(2月)、たんぽぽの創立50周年大会(5月)、デフリンピック(11月)
も開催される年です。
万全な状態で臨んでいきましょう！

'25. 1. 5

都サ連通信

発行 東京都手話サークル連絡協議会

代表 高田 直樹

http://tosaren.jp

tosaren_info@yhb.ne.jp

FAX: 03-3961-2445

❀ 新年あけましておめでとうございます

新しい年を迎えましたが
みなさま如何お過ごしでしょうか？



能登半島地震からちょうど一年が経ちます。都サ連としても、みなさまと共に支援を考えて、石川県サ連と連絡を取り合ったのですが、なかなかお返事が頂戴できずに一年が経ってしまいました。また、復興半ばで追い打ちをかけるように、9月に奥能登豪雨災害があり心を痛めることばかりでした。都サ連としましても継続して支援を考えて行きましょう。

昨年末には大阪生野聴覚支援学校の女子生徒の交通事故死の遺失利益 85%という地裁判決を不服として、ご両親が高等裁判所に控訴をしました。

年末の慌ただしい中での緊急署名でしたが、担当者会議に持参された署名数は501筆でした。ご協力ありがとうございました。気づけばデフリンピックまで残り11ヶ月となりました。

2022年9月オーストリア（ウィーン）で開かれた国際ろう者スポーツ委員会（ICSD）総会で、2025年デフリンピックの開催地が東京に正式決定しました。あれからあっという間に2年の月日が経ってしまいました。光陰矢の如しとはよく言ったものです。

都サ連は、2022年 デフリンピック準備室会議、2023年 デフリンピック推進会議拡大委員会、2024年 デフリンピック推進会議と参加し、開催の成功に向けて東京都、全日本ろうあ連盟、東京都聴覚障害者連盟とともに活発に活動を続けています。都サ連としましても、開催成功に向けて今後も積極的に活動を続けていきたいと思ひます。

100年目の記念すべき大会が東京で開催されることは、東京だけでなく日本全体にとっても大変重要な意味を持ちます。障害のある人となない人のコミュニケーションやITの発展による情報アクセシビリティの推進は「誰一人取り残さない」世界（SDGs）の共生社会実現へとつながります。東京2025デフリンピックは、2021年度の調査報告書によると認知度16.3%となっています。オリンピックの約100%パラリンピック98.2%と比べると非常に低い数字となっています。



デフリンピックの認知度向上、一般市民の方々への手話言語普及、聞こえない子どもたちにとってのデフ・スポーツ普及と子どもたちの未来のためにも是非とも成功させなければなりません。共に頑張りましょう！！

昨年暮れに、聴覚に障害のあるデフ陸上の高田裕士選手と、奥さんである全盲のママパラアスリート高田千明選手のトークのビデオを見る機会がありました。ご夫婦の明るく笑顔に満ちたトークは、障害種別を超えてお互いを信頼し理解しあう、コミュニケーションの壁を感じさせない姿に感動しました。お互いを思いやる姿こそ、我々が求めているものかもしれませんね。

不安な世界情勢が続いています。今年が平和な一年であるようにお祈りしています。

東京都手話サークル連絡協議会
代表 高田 直樹

デフリンピック

サポータースタートアップ in TOKYO の
要員をしてきました

11月23日は毎年、東聴連の北ブロックでは研修会やデフリンピック関連のイベントを行っています。ちなみに、去年は赤羽会館でデフリンピックムーブメントが行われていました。今年はタイトルの通り、デフリンピックサポータースタートアップが行われました。

いつからか、手話関係のイベントと聞くと、要員の血が騒ぐ私。超苦手な早起きも、赤羽駅にある「メルヘン」でサンドイッチを買う事を楽しみにクリア！さて、都サ連行事では、要員といえば「売り子」をさせていただくことが多い私。ところが今回、要員役割表を見ると私のお役目は「デフリンピックマスコットキャラクター「ゆりーとくん」のアテンド！」初めて聞くこのミッション。

中身はといえば、都庁から出張？に来てくれた「ゆりーとくん」がケガすること無く、ロビーと舞台と控室を往復するお手伝いと控室での極秘ミッション。

1人で歩いていても転ぶ私にそんな事が出来るのか不安でしたが、

「チームゆりーと（仮称）」とコースを下見、注意ポイントも確認。万全な体制でゆりーとくんをエスコート、無事ミッション完了。

デフリンピックのエンブレムのシャツを着て初めて「デフリンピックマスコットキャラクター」となる「ゆりーとくん」と、ロビーに立てば湧き上がる喜びの声と写真希望者の列。同日にミニカレが開催されていたのに、200名以上の来場者。

来年の本番に向けて課題はあると思うけど、みんなで力を合わせればなんとかなる気がした帰り道でした。



練馬こぶし会 大塚 育生

(事務局企画)一日研修会のお知らせ

日時：2025年1月26日(日)
10:00~16:00(受付開始9:30)
会場：日本大学 文理学部 百周年記念館2階
会費：加盟サークル関係者 1,000円/人
一般の方 1,500円/人

<午前の部>

『みんなで一緒に舞台を楽しもう! ~TA-netの
取り組み~』

講師：廣川 麻子 氏

(特定非営利活動法人 シアター・アクセシビリティ・
ネットワーク理事長)

<午後の部>

『生い立ち~演劇に目覚めたきっかけとは?~』

講師：板橋 弥央 氏

すでにお手元にチラシをお持ちの方もいらっしゃると思
いますが、2025年1月26日(日)に一日研修会があり
ます。

今回は1日通して舞台に関する講演です。

前半は、廣川麻子さんをお招きして舞台のバリアフリー
について皆さんと考えます。誰もが楽しめる舞台。
聞こえる人も聞こえない人も楽しめる舞台。ご自身も演じる
側でもあった廣川さんが作っていききたい舞台についてお話
しいただく予定です。

また後半は、板橋弥央さんにご自身のルーツや生い立ち
をはじめ、演劇に惹かれて表現の世界に入られたこれまでの
道のりをお話しいただきます。板橋さんのお話から舞台
に立つことの魅力、舞台を見ることの楽しさを感じていただ
ければと思います。

舞台の楽しさを知りそれを
誰もが享受するにはどうすれば
良いのか?ということを考える
一日になると思います。



申し込みがまだの方は

是非申し込みをお願いします。(事務局一同)

50周年記念誌作成委員会(仮)からのお願い

すでに何回か会議の場でお話していますが、2027年
に都サ連が創立50年を迎えます。それを目指して今ま
での活動をまとめようと、この委員会(仮)が動き出し
ました。そこで皆さんにお願いがあります。

個人的にでも結構ですし、サークルでも結構です。都
サ連行事に参加した際の写真や、各サークル新聞に関係
記事が載っているものがあれば情報提供をお願いします。

特に1977年から2010年位までの間のより古い
資料の収集に苦戦しています。

是非皆さんご協力のほどお願いいたします

また、委員会(仮)にお手伝いいただける方も大募集
です。現在、5人というメンバーで行って
いますので、大変ありがたいです。



(50周年記念誌作成委員会(仮) 堀)

第26回

東京都のろう教育を考えるフォーラム

2025年2月11日(火曜日・祝日)
13:30~16:30(受付13:00)



会場：港区高輪区民センター

講師：日本社会事業大学准教授 内田宏明氏、

日本社会事業大学 二神麗子氏

東京聴覚障害者支援事業所

スクールソーシャルワーカー 館脇千春氏

【今年のフォーラムは、対面形式で行います】

今年度のろう教育フォーラムでは、スクール・ソー
シャル・ワークの基本や歴史、ろう学校での実践
事例について学びます。基本も実践も一度に学べる
チャンスは、とても珍しいです。手話言語を学ぶ
我々にとって、ろう学校に通う子ども達や親御さん
の心の声を聞くよい機会となると思います。ソー
シャル・ワーカーの積極的な参加やサポートは、ろう
学校に通う子ども達やその家族にとって貴重な支え
となります。(詳細はチラシをご覧ください)
是非多くの方のご参加をお願いします。

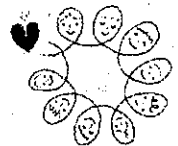
大学文化祭・学園祭報告 2024

今年度も、大学生手話サークルの文化祭・学園祭の
お知らせを17サークル(と春季に+1)計18サークル
からいただき、顔の見える関係作りにと事務局メン
バーとご挨拶に伺いました。

今年の文化祭の企画として多かったのは展示・発表
や喫茶店、手話歌、手話劇、手話講座などでした。
聞こえない学生が中心になっているサークルの底力は
凄まじく、入室から退室まで声を出さなくても完
結できるほどで、デフリンピックの開催を視野に入
れている事も当然といった様子が各所でありました。
一方聴者のみのサークルでは未だコロナ禍からの盛り
返しへの苦難も散見されましたが、例えばあえて
対象を手話に触れたことのない一般来場者に絞って、
楽しんで手話に関心を持てるような企画やパフ
ォーマンスに注力したりなど、それぞれ自身のレベ
ルに合わせた健闘をしているようでした。

その中のいくつかのサークルで、地元のサークルと
直接連絡を取る事への関心をたずねたところ、即席
ではあるものの肯定的な返答が多く得られました。
特に聴者中心の学生サークルでは、聞こえない人と
会う機会が一年でほとんど無いこともあるため、手
話の実体の把握やモチベーションの維持に課題があり、
交流や実践の機会が貴重と感じることもあるよ
うです。

これまで都サ連としても各所連絡を
取り合ってきましたが、地域レベル
でも繋がり合うことで、より身近で
現実的な選択肢をお互いに得られる
のではと期待を寄せたところではあります。



(広報班：大木)

今後の予定 活動時間 19:00～21:00 ※予定は都合により変更になることがあります

●2月

4	火	例会：全体会	21(金)相談会
11	火	休み	
15	土	一日研修 太子堂区民センター	
18	火	例会：班活動	
25	火	例会：一日研修報告	

●3月

4	火	例会：講演会 しゃれなあど	21(金)相談会
11	火	例会：総会資料発送	
18	火	例会：未定	
25	火	例会：総会 しゃれなあど	

手話サークル機関誌 たんぽぽ
発行日：2024年1月28日(火)
発行：手話サークルたんぽぽ
発行責任者：大原 和男
たんぽぽホームページ
<https://jsl-tampopo.amebaownd.com/>

講演会 問い合わせ先：
世田谷区教育委員会事務局 生涯学習課
Tel. 03-3429-4259 (Fax. 03-3429-4267)
講演会以外の問い合わせは直接例会会場まで

